

2016.8.11
祝☆山の日制定



市街地を引なりに囲み連なる山々。当たり前前の景色に私たちはなかなか気付かずにいたが、八幡平市は多様な自然・山の宝庫。市内に岩手山・八幡平と「日本百名山」を2座も有し、30分程度の散策感覚で登れる初心者向けの山から、縦走路を数日かけてアタックする挑戦系登山者向けの山々など、その種類はバラエティに富む。

そんな多くの山々に囲まれ、その恵みを楽しみながら生きてきた私たち。今年8月11日「山の日」制定や十和田八幡平国立公園 八幡平地域指定60周年と本市の山を語るに絶好の年。地元の人について再認識し、親しみ良い機会なのではないだろうか。

地元の山がイイんです！ 山のデパート 八幡平市

理容アイドル登山部
七滝～大地獄谷～御花畑 登山(8月1日)

取材協力：イーハトーヴォ安比高原自然学校



市民登山者が語る

八幡平市の山と登山の魅力

山の日を10日後に控えた8月1日、市内登山を楽しむ愛好家「理容アイドル登山部」を代表して伊藤聖徳さんに八幡平市の山と登山の魅力についてお話を聞いた。



「理容アイドル登山部」

市内大更にお店を構える「理容アイドル」の店主で登山ガイドの資格も持つ、伊藤聖徳さんを中心に、店のお客さんなどで結成された男女混合の登山部。現在部員は12人。月に2回程度、市内外の山へ赴き登山を楽しんでいる。

平館高校山岳部時代から、これまで市内外数々の山に登りましたが、八幡平市内の山の魅力はどこにも劣りません。純林が多く、森林が美しい。標高1500前後の山が多いですが、高緯度なので四季がはっきり表れる。春夏は多様な高山植物、秋は燃え

るような紅葉。冬には抜群の雪質を求めて海外からも観光客が多数訪れます。また、麓には温泉が点在し、下山すると手軽に入れて疲れを癒せる。山と温泉、両方を一度に楽しめるという自然の恵みもまた素晴らしいこと。地元だと当たり前前にそこにあるから気付かない人も多いですが、実は贅沢な所なんですよね。

登山の醍醐味は、登頂した時の達成感、非日常空間である自然の中の解放感を味わえるところにあると思います。そして目標を達成した後に見れる絶景への感動や、山中の飲

食、その格別の味わいは、やみつきになります。また、仲間と登った時の連帯感も楽しみのひとつ。長時間苦楽を共にするので、いつもより深くコミュニケーションを図れることも。

最初は辛く苦しくても回数こなすうちに、肉体的にも精神的にも自分の成長を山という場所では、感じられるような気がします。



左手に岩手山、右側に鬼ヶ城を望む御花畑



大地獄谷付近で休憩 湯を沸かしコーヒーを入れ、パンを焼く二人 左:伊藤聖徳さん 右:田村匡さん

